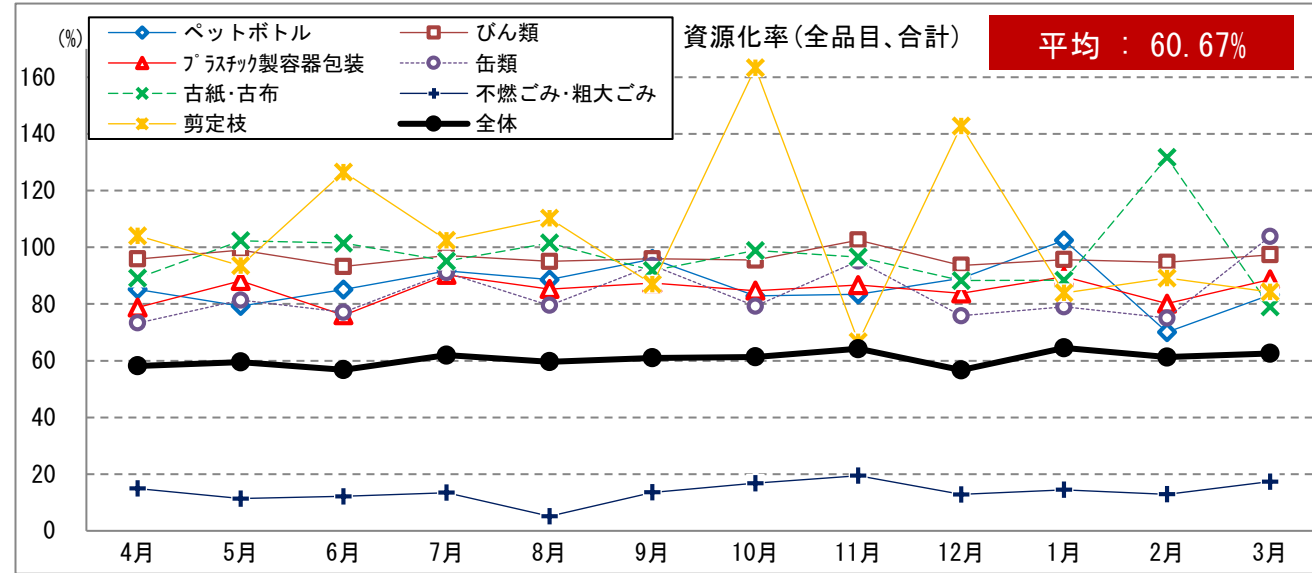


令和元年度(2019年度) リサイクルプラザ 内部モニタリング結果

1. 資源化



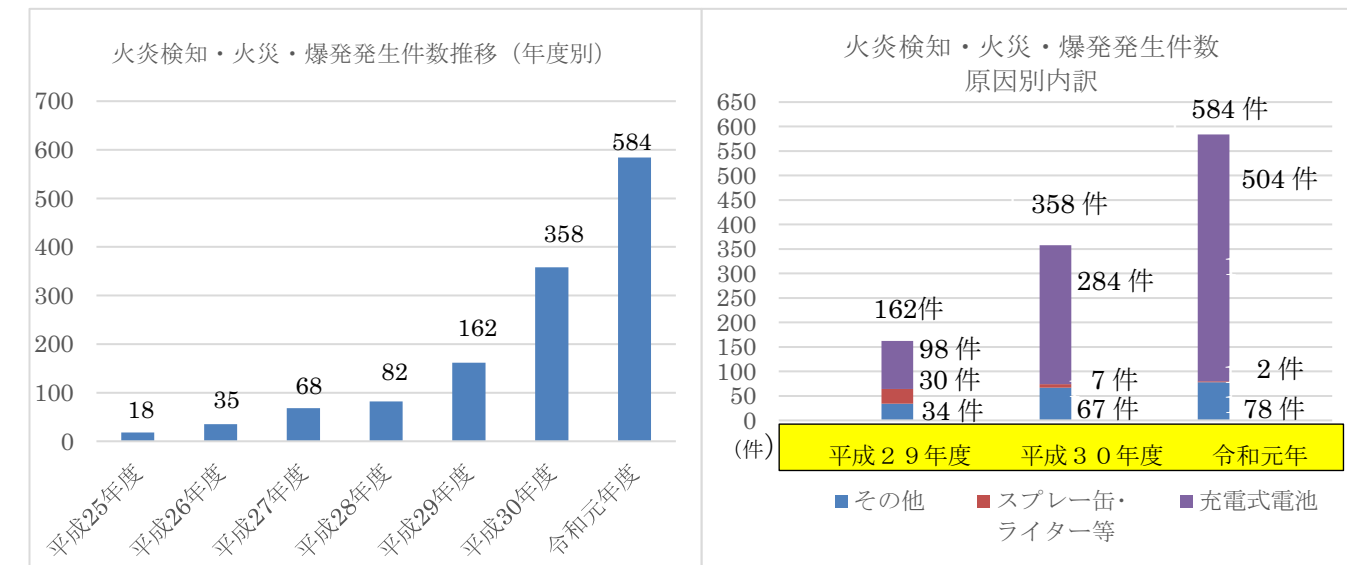
【評価】
 ・リサイクルプラザの資源化率は、昨年度の58.19%から上昇し、平成28年度以来となる60%台を達成した。びん類とプラ容器の資源化率が向上しており、市民啓発の効果が表れたものと考えられる。

【今後の方針】
 ・不燃ごみやプラスチック製容器包装の搬入物検査を継続実施し、両市と情報共有するとともに、その結果を基にした市民啓発を行い、資源化率の維持向上に努める。
 ・リサイクルプラザの稼働状況をモニタリングするとともに、運営業務受託者と情報共有を図り、施設の安定稼働を維持する。

《令和2年度(2020年度)における対応》
 ・プラスチック製容器包装に混入する充電式電池を内蔵する小型家電製品が増え、搬出先での火災事例が増加している。引き続き両市との搬入物検査を実施し、不適正品目の混入低減に向けた啓発を行うとともに、資源化率の向上に努める。

2. 事故・故障

労働災害：0件 火災検知・火災・爆発(ごみ処理停止に至ったケース)：584件

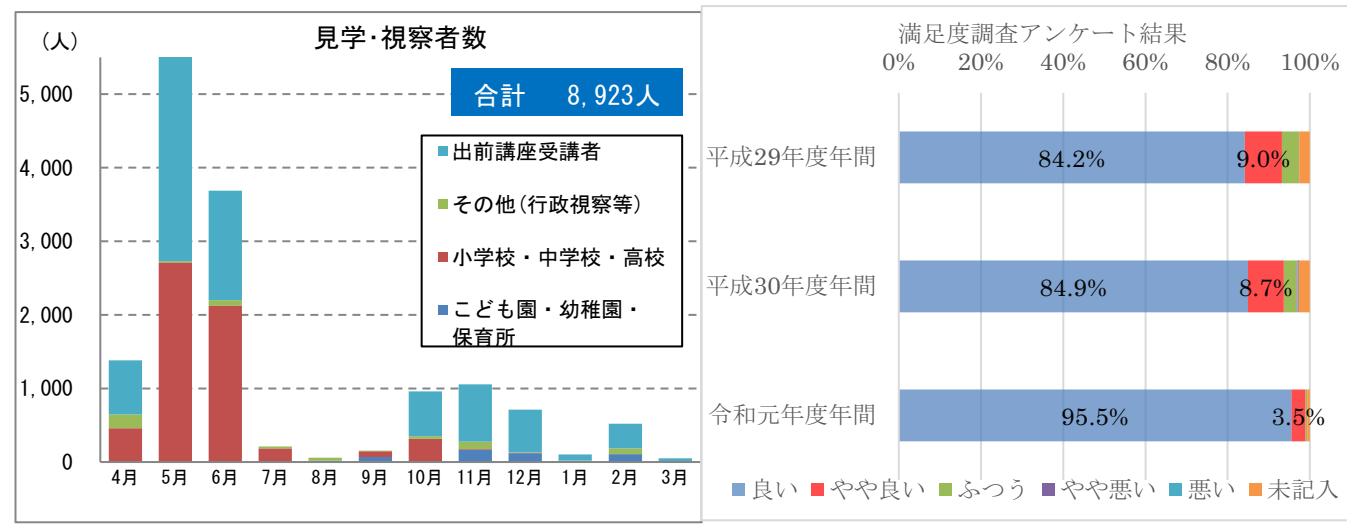


【評価】
 ・労働災害が発生しなかったことは、作業従事者への指導や保護具の効果的な着用などが適切であったものと考えられる。
 ・消火設備増強工事の効果により、火災検知による施設への損傷低減と1件当たりの機器停止時間の縮減に繋がっている。

【今後の方針】
 ・プラスチック製容器包装への注射針の混入量が増加傾向であることから、両市と情報共有し、混入防止に向けた市民啓発を継続する。
 ・不燃・粗大ごみ破碎選別ラインでの火災検知件数が大幅に増加しており、施設の安定稼働のため、その影響を低減させる必要がある。

《令和2年度(2020年度)における対応》
 ・手選別業務における労働災害ゼロを継続するため、受託者に対して保護具の検証や作業手順の徹底を引き続き指示する。
 ・充電式電池を内蔵する小型家電製品の拠点回収について協働して啓発し、リサイクルプラザの火災検知件数低減を図るとともに、施設の安定稼働を維持する。

3. 環境学習・啓発



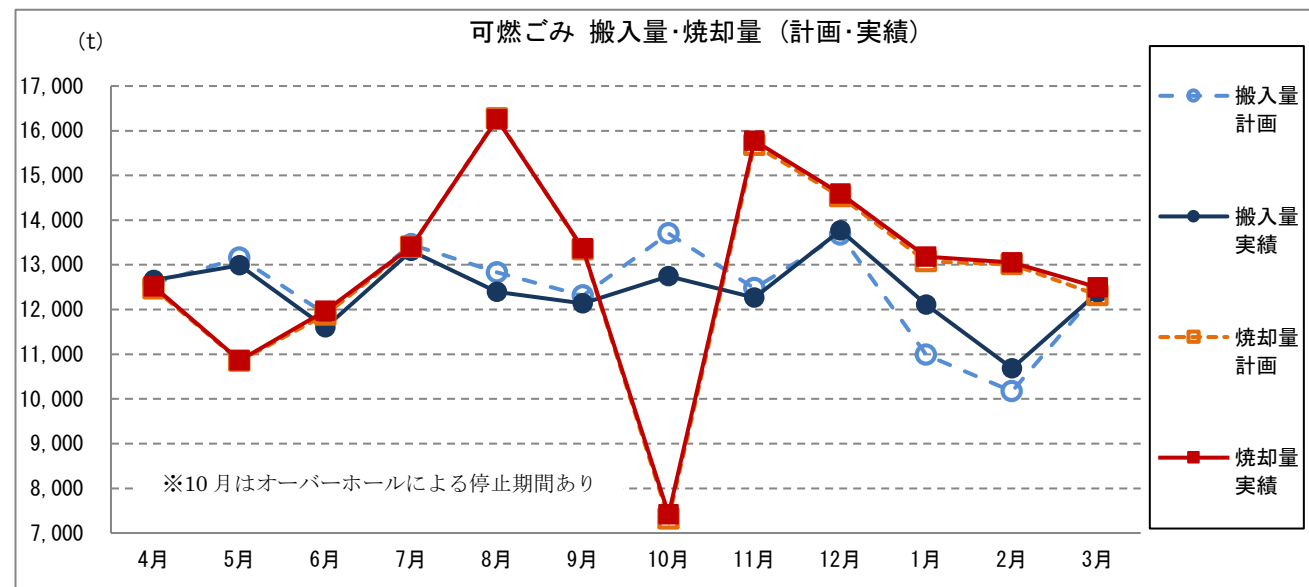
【評価】
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、3月12日から施設見学業務を休止した他、展望フロア開放デーなど、予定していたイベントが中止や延期となったことから、前年度と比較して来場者数が減少した。
 ・来場者の満足度調査アンケートでは、概ね良いとの評価を得た。

【今後の方針】
 ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言解除を待ち、施設見学業務をはじめ、展望フロア開放デーなどのイベントを慎重に再開する。
 ・リサイクルプラザとごみ焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた一体的な環境学習メニューを企画し、来場者の増員に努める。

《令和2年度(2020年度)における対応》
 ・小学生の見学日程が例年から変更になったため、他のイベント開催スケジュールを調整するなど、リサイクルプラザとごみ焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた効果的な環境学習メニューを企画・実施することにより、来場者の増員を図る。
 ・各種イベント等については感染防止対策を実施のうえ再開する。

令和元年度(2019年度) ゴミ焼却施設 内部モニタリング結果

1. ゴミ焼却施設



【評価】

- 搬入量は、月により計画値から増減することはあったが、年間の搬入量については計画値の約99.6%の値となった。
- また、焼却量は、概ね計画通りとなるよう適宜見直しを行うことにより、安定的な運転管理ができています。
- 照明設備の不要時の消灯や給排気設備等の運転台数調整を行うことにより、所内電力の削減に努めている。
- 年間をととして焼却炉の運転状況に余力がなく、施設をフル稼働することで対応している。

【今後の方針】

- ごみの組成変化の推移を確認していくとともに、焼却施設の安定稼働に向けて、適正な維持管理・運転管理を実施する。
- ごみの堆積量が少ないときに誤差の修正を行い、ピット堆積量を適切に管理することで、施設の安定稼働につなげる

《令和2年度(2020年度)における対応》

- 焼却量については、概ね計画どおり焼却できており、引き続き安定的な運転管理を行う。
- 定期的に可燃ごみの堆積量が少ないときに、堆積量の誤差を修正し、以後の運転計画に反映させる。
- 両市と協働して、より一層ごみ減量に向けた市民啓発を行っていく。

2. 環境

(排ガス)

(排水)

項目	測定値	基準値	
		自主	法定
ばいじん (g/N m ³)	≤0.001	0.01	0.04
塩化水素 (g/N m ³)	<0.4~1.3	10	約430
硫酸酸化物 (ppm)	<0.5~0.6	10	120
窒素酸化物 (ppm)	9~22	30	250
ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³)	0~0.0017	0.05	0.10

項目	測定値(平均値)				基準値
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
総水銀含有量 (mg/l)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
鉛 (mg/l)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.1
亜鉛 (mg/l)	0.8	0.6	0.7	0.7	2
ダイオキシン類濃度 (pg-TEQ/L)	(6月4日)0.000039				10

【評価】

- 適正かつ計画的な維持管理の実施等により、全ての項目において基準値を満たしており、適切に管理ができています。

【今後の方針】

- 今後も引き続き各測定項目が基準を満たす値となるよう、適切な施設の維持管理、運転に努める。

《令和2年度(2020年度)における対応》

- 排ガス・排水の全ての項目において、引続き年間を通して基準値を満たせるよう測定値の推移を確認し、適正な維持管理・運転に努める。

3. 事故・故障

労働災害：3件・グレーチングの開口部に気づかず落ちグレーチングの角で膝を打ちつけ骨挫傷

- 両膝を曲げた状態のまま作業場所を移動した際に膝に負担がかかり半月板を損傷
- 市民が持ち込んだ廃棄物を手渡しで受け取った際、右膝に負担がかかり骨折した

設備・機器故障(焼却炉の停止に至ったケース)：0件

【評価】

- 今年度も労働災害が発生した。今後、再発防止に向けた取組みに努めてもらいたい。

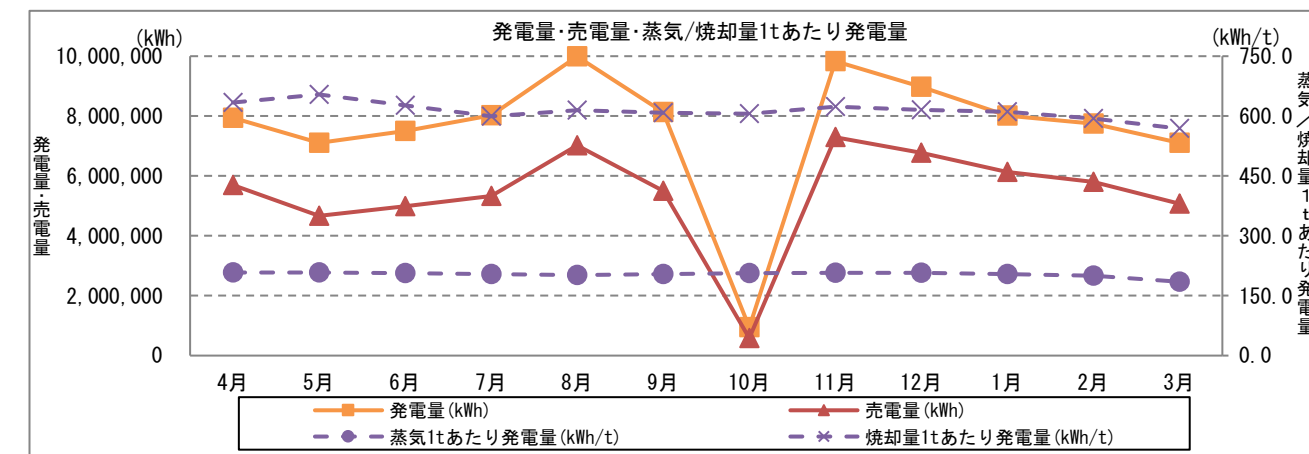
【今後の方針】

- 全職員に労働災害発生事案とその対策について周知徹底するとともに、類似災害についても注意し、再発防止に向けた取組みと安全意識の向上に努める。
- 各種設備・機器の適正かつ計画的な予防保全に努める。

《令和2年度(2020年度)における対応》

- この間発生した労働災害の対策等の再確認を行い、類似災害を含めた再発防止に努める。
- 日常点検や修繕記録などからなるデータを基に各設備機器の予防保全に努める。

4. 資源化



【評価】

- 年間通じて蒸気 1t 当たりの発電量は全国的にも高い水準の値を維持できており、安定的、効率的な施設稼働ができた。

【今後の方針】

- 今後も引き続き高効率に発電設備を活用することにより、安定的な発電かつ売電収入の確保に努める。

《令和2年度(2020年度)における対応》

- 引き続き、年間の運転計画をより安定的、効率的な施設稼働ができるよう調整を行い、高効率で安定した発電量も確保できるよう取り組む。